



但馬県民局からのお知らせ

但馬版の
問い合わせは

但馬県民局総務企画室総務防災課へ
〒668-0025 豊岡市幸町7-11

☎0796-26-3616 F 0796-24-3211



困ったとき、
まずは[さわやか県民相談]へ
☎0120-31-7830
携帯電話からは☎0796-23-1001
平日(祝日等を除く)9時~17時30分

「コウノトリ育む農法」がつなぐ豊かな但馬

~自然と共生する農業の20年~

豊岡市では1965(昭和40)年からコウノトリの野生復帰に取り組み、その一環として2005(平成17)年から「コウノトリ育む農法」を実践。人もコウノトリも暮らしやすい豊かな地域と環境づくりを進めています。

☎豊岡農業改良普及センター ☎0796-26-3708 F 0796-24-8163

コウノトリ育む農法とは

国内最後の野生コウノトリの生息地、豊岡市では人工繁殖を進め、2005(平成17)年に放鳥を開始。野外生息数の増加に伴い、餌となる魚や虫など多様な生き物を増やすため、水の管理を工夫し、農薬や化学肥料に頼らず稲を育てています。生物多様性保全の観点から全国的に注目されている農法です。

コウノトリもすすめる/
豊かな地域・環境づくり

放鳥20年超

野外生息数500羽超

「コウノトリ育む農法」の田んぼ
但馬全域で約630ha

無農薬・減農薬米を学校給食に



「冷めてもおいしい」と大好評。生産者は「子どもたちの笑顔を思うと頑張れる」と、手間のかかる栽培に向き合っています。

「子どもたちに食を通じて自然や農業に興味を持ってほしい」という生産者の思いから、豊岡市内の公立小中学校の給食に「コウノトリ育む米」を提供。2025(令和7)年度は年間提供量約90tのうち、60tが無農薬米、30tが減農薬米で、将来的に全量無農薬米を目指しています。

農家と小学生が一緒に「生きもの調査」

同農法に取り組む田んぼでは、コウノトリを食物連鎖の頂点とする豊かな生態系が築かれています。毎年6月、7月には、農家自らが「生きもの調査」を実施。オタマジャクシのカエルへの変態後に水を抜くなど、生き物を守りながら栽培に取り組んでいます。地域の小学生の環境学習の場にもなっています。

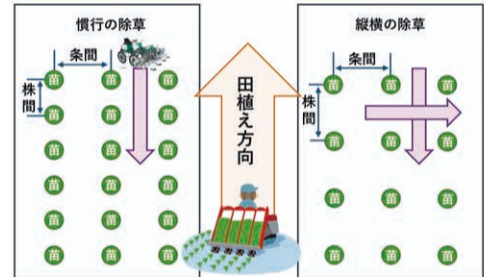


スマート農業で除草方法を改良

農薬を極力使用しない同農法では、雑草を効率良く除去することが課題です。近年、衛星利用測位システム(GPS)を利用した縦横等間隔の田植え技術が開発されたことで、縦横2方向の除草が可能に。6月には乗用水田除草機を使った県内初の実証実験を開始します。



広い田んぼの除草が楽にできる乗用水田除草機。



縦横等間隔に稲を植えることで、従来の条間(縦)に加え、株間(横)も除草が可能に。

Information

イベント等は延期・中止の場合があります

マダニによる感染症に注意しましょう

春から秋にかけて、マダニの活動が活発になります。ウイルスを持つマダニにかかると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などの感染症を発症することがあります。山や草む

らでの作業時は、長袖、長ズボンなどの衣類を着用して肌の露出を避け、虫よけ剤を使いましょう。作業後は体にマダニが付いていないか確認してください。マダニにかまれたら無理に引き抜かず医療機関に相談してください。

☎豊岡健康福祉事務所健康管理課
☎0796-26-3660
☎0796-24-4410



但馬ドームサマーミュージアム「親子ドローン操縦体験会」の参加者募集

公認インストラクターによる指導の下、但馬ドーム内と屋外でドローンの操縦体験会を実施します。農薬散布、測量、災害救助など幅広い分野で活用されているドローンの展示も。

☎小学生と保護者
📅8月9日📅、23日📅11時~12時、13時~14時、15時~16時

📍同施設エントランスホール、屋外(晴天時のみ)

📎各回10組程度(先着)

📎1組1,000円

📎📞当日までに住所、参加者全員の氏名、電話番号を📧📞で同館へ

☎0796-45-1900

F 0796-45-1901

